

marie claire

🖱️ marieclairejapon.com

29th September, 2022
No.165

Fall in
Love

秋のときめきを探して

本サービスを利用した営利目的の活動行為、
あるいは本サービスを通じて入手した情報を
複製、販売、出版その他
私的利用の範囲を超えて使用する行為の
一切を禁止します。



Welcome to marie claire vol.165

8

月、相次いで日本の、いや世界のファッション界で大きな存在感を示してきたデザイナーが亡くなりました。三宅一生さんは8月5日に84歳で、森英恵さんは8月11日に96歳で。

私がニューヨークで暮らしていた時、パーク・アベニューにあるデザイン事務所でアルバイトをしたことがあります。そのデザイン事務所のオーナーは芸大を卒業後、しばらくして渡米し、大成功をおさめた日本人グラフィックデザイナー。奥様がファッション誌の編集者だったということもあり、そのオーナーは三宅一生さんのニューヨークでの代理人でもあったのです。さらに三宅一生さんの日本の会社に私の知り合いが働いていたりと、一生さんとお話しする機会はあまりありませんでしたが、私にとってはご縁があると感じられるデザイナーでした。また一生さんは後進を育てることに注力し、三宅デザイン事務所からは小野塚秋良さん、滝沢直己さん、津森千里さん、廣川玉枝さん、黒河内真衣子さんなど、多くの日本を代表するデザイナーが輩出しています。

一生さんの功績は、なんと言ってもファッションデザインをアートや工芸、建築などと同様のものとして社会的に認知させたことでしょう。また素材の開発でも時代を先取りしていたのではないのでしょうか。現在のSDGsを先取りするような素材開発など、その足跡は本当に大きなものでした。

森英恵さんとは何度もお会いし、お話しさせていただきました。私の母は、若い時に阪神間で育ち、息子の私が言うのもなんですが、とてもお洒落でした。結婚して東京に住むようになってからは、父が宝飾品関連の仕事をしていたということもあり、さらにお洒落になったのでしょうか。幼かった私を連れて、よく「ひよしや」というブティックに行っていたことが記憶にあります。「ひよしや」とはもちろん、新宿にあった森英恵さんの最初のお店でした。



撮影：読売新聞社

森英恵さんの歴史は、日本のファッションの歴史と大きく重なります。日本のファッションの黎明期にデザイナーとしてスタートし、数百年もの日本映画の衣装を担当、その後ニューヨークに進出。アメリカでの高い評価を受けてからヨーロッパに進出し、そしてパリ・オートクチュール組合の初の日本人会員となるなど、まさに成功物語をタイムテーブルに沿ったように成し遂げられた方です。

ある年のお正月に森先生とホテルオークラでばったりお会いしたことがあります。その時、森先生はいつものようにとても凜とされていて、「お正月は一人でホテル暮らしをしているの」と話しておられました。ご主人を亡くされたあとのことです。

三宅一生さんと森英恵さんは、対極にあったデザイナーとも言えます。三宅さんのデザインは先鋭的で新しい素材を積極的に使い、とても着やすく、また扱いやすいものでした。

森英恵さんのそれは、有名な蝶々に代表されるように、エレガントで高級感が漂い、世界の多くのセレブリティに愛用されました。

お2人が世界で注目を集め始めた1970年代からファッション業界、ファッション産業は大きく変わりました。8月21日付けの読売新聞オンラインで服飾研究家の深井晃子さんは「誰もが知る2人の死は、有能なデザイナーが流行を生み出し、消費を喚起する時代が完全に終わったことを象徴している」と述べています。

海外ではファッションブランドの再編が進み、またファスト・ファッションの台頭や環境問題への意識の高まりによる、再生素材や古着を使った服が注目されています。

また早稲田大学の土屋淳二教授はやはり同日の読売新聞オンライン上で「デザイナーの力で服に付加価値をつける時代ではない。消費者の嗜好も変化し、服への関心も低下している」と言います。

三宅一生さん、森英恵さんの死去は、ファッションの世紀とも呼ばれた20世紀から、新しい時代に入っていることを否応なく再認識させる象徴的な出来事だったと言えるでしょう。

2022年9月29日

Katsuto Tai

田居克人
Katsuto Tai, marie claire 編集長

Contents

- 7 Welcome to marie claire /
- 8 Cover Story: Kristen Stewart /
- 11 Style Picks: Puffy Touch /
- 13 Style Picks: Working Up /
- 14 Trench Paradoxes /
- 19 Beauty: Make up Trends /
- 23 Art: Iittala-Stars of Finnish Glass, shop list

marie claire

2022年9月29日発行 第11巻 第9号(通巻165号)

発行人 Publisher:
安部順一 Junichi Abe

編集長 Editor in Chief:
田居克人 Katsuto Tai

副編集長 Deputy Editor in Chief:
高橋直彦 Naohiko Takahashi

アートディレクター Art Director:
木村裕治 Yuji Kimura

ビジネス スペシャリスト Business Specialist:
斉賀明宏 Akihiro Saiga

編集部 Editorial Team:
部長 Manager:
横山恵子 Keiko Yokoyama

大林理子 Riko Obayashi
高波麻奈美 Manami Takanami
菊池美裕紀 Miyuki Kikuchi
阿部未侑加 Miyuka Abe
マルチンバイヤル・ホストツェグ
Malchinbayar Khostsetseg

パリ特派員 Paris Correspondent:
須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:
木村裕治 Yuji Kimura
佐藤 幹 Miki Sato

発行 Publication:
読売新聞東京本社
〒100-8035 東京都千代田区大手町1-7-1
tel: 03-6739-6303
THE YOMIURI SHIMBUN

記事制作 Production:
中央公論新社
〒100-8152 東京都千代田区大手町1-7-1
tel: 03-5299-1810
CHUOKORON-SHINSHA, INC.

印刷 Printing:
共同印刷
KYODO PRINTING CO., LTD

MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive director:
Jean de Boisdeffre
Deputy director:
Félix Droissart
Deputy director (marketing and special operations):
Nicia Rodwell
International editorial director:
Séverine Harzo
International fashion and beauty chief editor:
Sylvie Halic
International commercial director:
Elodie Bretaudeau Fontelles
International deputy commercial director:
Elisabeth Barbier
Syndication director:
Thierry Lamarre

©MARIE CLAIRE ALBUM 2022
©THE YOMIURI SHIMBUN 2022
本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。
※本紙に掲載されている商品の価格は
特記されている場合をのぞき、すべて税込みです。





Kristen Stewart

ダイアナ元妃の苦悩を演じたクリステン・スチュワート
その運命の作品に込めた思いとは？

Cover Story

photos: Pablo Larrain
text: Tomoko Kawakami

弱冠12歳で出演した映画『パニック・ルーム』(2002年)でその才能を強くアピールし、『トワイライト』シリーズで、確固たる地位を築いた女優のクリステン・スチュワート。今年で32歳になった彼女が最新作で演じているのが、没後25年の現在でも世界中から愛される英国のプリンセス、ダイアナ元皇太子妃だ。この作品で、アカデミー賞の主演女優賞にも初めてノミネートされたクリステンに、ダイアナ元妃、そして自分について語ってもらった。

「監督は私をキャスティングするときに全く迷いがありませんでした。会話をしたり、私に台本を読ませたりなどもせずに、私ならできると彼は確信していたのです。クレイジーですね」と振り返る、女優のクリステン・スチュワート。彼女は、10月に日本で公開される映画『スペンサー ダイアナの決意』で主役のダイアナ元皇太子妃を演じている。

20歳で英国王室のチャールズ皇太子(当時。現国王チャールズ3世)と結婚し、一瞬にして世界中の人々を虜にしたダイアナ元妃。2人の息子を育て、人道支援活動に心を注ぎながら、36歳の若さで交通事故に遭い、この世を去った。本作は、1991年にクリスマス休暇を過ごしていた彼女が、その後の人生を変える決断をした激動の3日間の出来事を描いた映画。

クリстенは伝統と格式に縛られた英国王室の中で孤立し、孤独の闇を深めていくダイアナ元妃の姿を見事に演じきった。普段は、長い時間をかけて役作りをすることはないと言うクリстенだが、今回は方言指導者のレッスンを受け、英国人らしいアクセントも正確にマスター。劇中のクリстенは、実在したダイアナ元妃の仕草、眼差し、そしてアクセントも見事に再現し、周囲を唸らせた。「ダイアナ妃が話す映像を繰り返し見て、何度も注意深く聞いていたら、彼女のある言葉に鳥肌が立ち、とても影響を受けました。彼女の話し方は、カジュアルでありながら、情熱的で聞く人の気持ちを和らげ、とても魅力的です。ダイアナ妃が亡くなった時、私はまだ7歳で、バッキンガム宮殿の前の花や、もの悲しい雰囲気は覚えています、それ以外は知らないことばかりでした」

クリстенは、2002年に子役としてジ

ョディ・フォスターと共演した映画『パニック・ルーム』で脚光を浴び、その後、『トワイライト』シリーズでヒロインを務めて、世界的スターにまで上り詰めた。幼い頃から数々の作品に出演し、演技力を磨いてきた彼女でさえ、この作品への出演はチャレンジだったと語る。

「あのダイアナ妃を演じるのは怖かったかと聞かれると、答えはイエス。でも、演者として尻込みはしなくなかった。とても大変な役だと分かっていたけれど、挑戦することを避けて通る人間にはなりたくなくて。私は長年、俳優を続けてきて、頂点に到達することが可能なのか挑戦してみたいと思ったんです。もしも頂点を目指さないのならば、この仕事を続けている意味はないんじゃないかしら？」

クリстенの大いなるチャレンジは、この作品で見事に結実し、その素晴らしい演技力で第94回アカデミー賞主演女優賞にもノミネートされている。

「私はこの映画の撮影中、毎日、一度も二皮も剥けていった気がします。それまでの私はとても過敏な人間でしたが、この作品にトライしたことで新たな自信が持てました」

10代にして世界的な人気女優となったクリстенは、大勢のパパラッチに連日連夜、追いかけていたダイアナ元妃と自分の姿を重ねる部分もあるのだろうか？

「私も制御不能な感覚に陥った時期があります。ダイアナ妃にとってはそれが人生を左右する決定的な要因になった。さらに彼女の場合は、本来の自分ではないプリンセスとして、自分にさえ嘘をつき公の場に立たなければならなかったし、プライバシーを守る権利さえなかったんですよね。私が写真を撮られるのとはまた違う理由なのです」

プライバシーを侵害されただけでなく、本来のダイアナ元妃の姿を知るのがほとんどないという事実がとても悲しいことだと話すクリстен。彼女自身、長らくマスコミに追いかけている存在であるものの、それはいつものことだと言う。

「私は好きなように自己表現できるし、批判も賞賛も自分のコントロールの範疇。今すぐに外に出て、私はこんなことをしている! こんなことを考えている! こんな人と付き合っている! と自由に伝えることもできるから」

そんなタフなマインドを持つクリстенは、自らがバイセクシュアルであることも公表している。2021年には、3年来のパートナーの脚本家、ディラン・マイヤーとの婚約も発表した。

「私はこの作品に出演する前から子供が欲しかったのですが、ウィリアム王子とヘンリー王子の母親を演じることができて本当によかったと思います。ダイアナ妃の最も強い部分は、母親だったこと。彼女の人生のさまざまな部分が不安定だったこととは対照的に、2人の愛する息子の母親である事実を揺るがすものは何もなくったのです」

結婚も決まり、母親にもなりたいたと語るクリステン・スチュワートは今後、さらなる大きな飛躍を遂げそうだ。

――
『スペンサー ダイアナの決意』
10月14日(金)、TOHO シネマズ 日比谷ほか
全国ロードショー
出演: クリステン・スチュワート、ジャック・ファースリング、
ティモシー・スポール、サリー・ホーキンス、ショーン・ハリス
監督: パブロ・ラライン
配給: STAR CHANNEL MOVIES
© 2021 KOMPLIZEN SPENCER GmbH &
SPENCER PRODUCTIONS LIMITED
https://spencer-movie.com/#





1



2



3



4



10



9



8



左 Bottega Veneta ドレス¥452,100、グローブ¥113,300、ブラ¥154,000、アンダーウェア¥145,200、バッグ¥379,500、靴¥429,000[予定価格] (すべてボッテガ・ヴェネタ/ボッテガ・ヴェネタ ジャパン) 右 Loewe トップス¥138,600、ボトムス¥107,800[参考価格]、バッグ¥409,200、靴¥249,700[参考価格] (すべてロエベ/ロエベ ジャパン クライアントサービス)



7



5



6

Puffy Touch

ふっくらパファーバッグが今季も続々登場！

Style Picks
realization: Maki Kimura

キルティングバッグを筆頭に、ふっくらとしたボリュームが魅力のパファーバッグ人気が続中。
スタイリングに存在感を与えてくれるモードな味方を新作からピックアップ。

1.Balenciaga クラッシュカーフのメタリック生地が新鮮。バッグ"クラッシュ S チェーンバッグ" [W25×H15×D8] ¥292,600 (バレンシアガ/バレンシアガ クライアントサービス) 2.Celine 長方形のキルトッドがモダン。バッグ"セリーヌ マトラッセ モノクローム" [W24×H15×D5.5] ¥478,500[予定価格] (セリーヌ バイ エディ・スリマン/セリーヌ ジャパン) 3.Loewe ナッパラムススキン独特のパフィー感をクロージャーが強調。バッグ"パファー ゴヤバッグ" [W23×H17×D9] ¥409,200 (ロエベ/ロエベ ジャパン クライアントサービス) 4.Louis Vuitton クッションのような風合いにチャンキーチェーンが映える。バッグ"クッサン BB" [W21×H16×D7] ¥489,500 (ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス) 5.Saint Laurent カラフルなロゴプリントに幾何学的なステッチがアーティ。バッグ"ジェミー" [W25×H15×D7.5] ¥295,900 (サンローラン バイ アンソニー・ヴァカレロ/サンローラン クライアントサービス) 6.Miu Miu ピンクサテンの生地がマトラッセのふっくら感を際立たせて。バッグ"ミュウ ワンダー" [W20×H17×D6] ¥242,000[予定価格] (ミュウミュウ/ミュウミュウ クライアントサービス) 7.Burberry 柔らかなキルティングレザーでチェック柄を表現。バッグ"ローラ カメラバッグ" [W24×H15×D6] ¥169,400 (バーバリー/バーバリー ジャパン) 8.Mulberry 思わず触れたいふわりもこ感と遊び心溢れる曲線キルティングが好相性。バッグ"ソフティ" [W27×H23×D7] ¥255,750 (マルベリー/マルベリー ジャパン) 9.Maison Margiela 空に浮かぶ雲を思わせる曲線美に魅せられる。バッグ"グラム スラム" [W43×H29×D14] ¥295,900 (メゾン マルジェラ/マルジェラ ジャパン クライアントサービス) 10.Bottega Veneta 弾力のあるパッド入りレザーを手編みしたアイコンバッグの最新作。バッグ"パデッド カセット" [W26×H18×D8] ¥451,000 (ボッテガ・ヴェネタ/ボッテガ・ヴェネタ ジャパン)



1



2



3



4



10



9



8



左 Chanel ジャケット¥1,406,900、スカート¥510,400、ハット¥163,900、バッグ¥570,900、靴¥135,300 [すべて予定価格] (すべてシャネル/シャネル カスタマーケア) 右 Dior プルゾン¥830,000、ニット¥270,000、スカート¥430,000、バッグ¥550,000、靴¥355,000 (すべてディオール/クリスチャン ディオール)



5



6



7

Working Up

最旬ワークブーツで足元にボリュームON

Style Picks

realization: Maki Kimura

ここ数年トレンドが続くワークテイストのボリュームブーツは、実用性とデザイン性を兼ね備えた優秀アイテムとして人気沸騰中。アップデートされた新作から今年顔の一足を探して。

1.Chanel サイハイレングスがインパクト大のレインブーツ。ダブルCとラインデザインがアクセント。靴“ハイブーツ” [H2.5] ¥299,200 [予定価格] (シャネル/シャネル カスタマーケア) 2.Gucci バックルとラインデザインのスポーティワークなムードをメタリックヒールがスタイリッシュに昇華。靴 [H8.5] ¥264,000 (グッチ/グッチ ジャパン) 3.Louis Vuitton バイカージャケットに着想を得たディテールが満載。靴“パッティ・ライン ブーツ” [H9.5] ¥264,000 (ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス) 4.Dior ラバーソールとの間に差し込んだウッドとシルバリーベットのこだわりが光る。靴“ディオールクエイク” [H2.5] ¥355,000 (ディオール/クリスチャン ディオール) 5.Valentino フロントジップの両サイドにレースアップをあしらって。靴“Xコンバット” [H4] ¥193,600 (ヴァレンティノ ガラヴァーニ/ヴァレンティノ インフォメーションデスク) 6.Coach アンクルまわりとサイドに施したシアリングトリムが秋冬ムードを加速。靴“ジェーン レザー ブーティ” [H2] ¥66,000 (コーチ/コーチ・カスタマーサービス・ジャパン) 7.Mara アイコンであるディベアコートの子地をオン。キュートであたたかみのある素材感が秋冬にぴったり。靴 [H2] ¥106,700 (マックスマラ/マックスマラ ジャパン) 8.Salvatore Ferragamo 太めのシューレースとサイドバックルがポイントのチャッキーでリュクスなハイキングブーツ。靴 [H2] ¥198,000 (サルヴァトーレ フェラガモ/フェラガモ・ジャパン) 9.Tod's ニットで描いた大胆なチェーン柄とファブリック、レザーといった素材の切り替えデザインが新鮮。靴 [H3.5] ¥115,500 (トッズ/トッズ・ジャパン) 10.Jil Sander ブーツのフォルムに沿ったサイドゴアデザインがユニーク。靴 [H1.5] ¥154,000 (ジル サンダー バイ ルーシー アンド ルーク・メイヤー/ジルサンダー・ジャパン)



Trench Paradoxes

新感覚で纏うこの 秋のトレンチコート

コルセットを重ねて ドラマティックに

アシンメトリーなプリーツスカートにトレンチコートをレイヤード。メゾンのクチュールスピリットを感じさせるコルセットをさらに重ねることで、モードな存在感が際立って。コート【参考商品】 スカート ¥530,000 コルセット ¥740,000 (すべてディオール／クリスチャン ディオール) ブーツ【参考商品】 (メゾン マルジェラ／マルジェラ ジャパン クライアントサービス)



ワードローブの定番アイテムであるトレンチコートが、この秋、ベーシックなコートの境界線を越え、モードの主演へと変貌を遂げた。自由なレイヤード、ドレスへの変身、個性を語るディテール……。進化する最新トレンチコートの世界へご案内!

photos: Tom Cattanaach
realization: Anna Quérouil
styling assistant: Manon Baltazard
hair: Leslie Thibaud (Airport Agency using Hair by Sisley)
make-up: Salo Jeddli
model: Alicia Lindén Guíñez (Next Management)
casting: Nicolas Bianciotto (IKK4)
production: Zoé Martin (Producing Love)
assistant: Margot Bootz

ダメージ加工で魅せる ニュースタANDARD

コットンツイルのトレンチコートにダメージ加工でひねりを加えた“DIYカーコート”。バスローブのようなややかな着心地。モダンなディテールに、「バレンシアガ」を率いるデムナの創造性が宿る。コート ¥430,100 (バレンシアガ／バレンシアガ クライアントサービス) ブーツ【参考商品】 (メゾン マルジェラ／マルジェラ ジャパン クライアントサービス)

トレンチコートが 優雅なドレスに

トレンチコートを代名詞とするブランド「バーバリー」から、アウターウェアであるトレンチコートをドレスへと大胆に再解釈した1着が今季登場。シンボリックにして遊び心溢れるデザインが新鮮! ベルトをあしらったウエストから広がる、ボリューム感のあるシルエットが美しい。ドレス¥3,630,000 [予定価格] (バーバリー / バーバリー・ジャパン)



1



2



3

ディテールで差をつける 今季のマイベスト

photos: Asa Sato (still)
realization: Maki Kimura (still)

1. ショルダータブがトレンチを思わせるロングケープコート。ノットベルトでウエストを強調してシルエットメイクを。コート¥646,800 (クロエ / クロエ カスタマーレソリューションズ) 2. ボックスプレスや袖のギャザー、オフセンターのフロントなど、こだわりのディテールが満載。コート¥325,600 (ジル サンダー バイ ルーシー アンド ルーク・メイヤー / ジルサンダー・ジャパン) 3. 立体感を生むウエストタックが際立つたつばりとしたシルエットが魅力。ドッキングされたビスチェや胸下のギャザーデザインがモードなレディを演出。コート¥209,000 (サカイ) 4. 長さの調節が可能なオーバーサイズカフやミッドレングスが軽さを演出。肩やポケットのボタンもアクセントに。コート¥138,600 (3.1 フィリップ リム / 3.1 フィリップ リム ジャパン) 5. ファートリムされた花柄のキルティング袖が目を引く。首元のクロージャーやカットアウトボタンにも遊び心が。コート¥256,300 (アクネ ストゥディオズ / アクネ ストゥディオズ アオヤマ)



今季のランウェイに登場したマキシ丈のシンプルなトレンチコートに、同系色のスカートをレイヤード。コートと一体化したようなワントーンの着こなしで新鮮さを狙って。コート¥457,600 (ジバンシィ / ジバンシィ ジャパン) スカート [参考商品] (ソニア カラスコ)



5



4

「顔」から、秋、深まる。

2022-23AW、3つのメイクアップトレンド

composition & text: Chitose Matsumoto

深まる秋。服の色や質感が変わり始めると、
自ずとメイクアップもより色濃く濃密に、と
胸躍る。そこで、今シーズンの
トピックの中でも、今すぐ取り入れたい
3つのメイクアップトレンドを紹介。



CLÉ DE PEAU
BEAUTÉ

ル・フンドウタンn

圧倒的なスキンケア効果を実現。瞬時に肌をパーフェクトに見せるメイクアップ効果はもちろん、使うほどにハリがアップ。SPF25 PA++ 全7色 30g ¥33,000 /クレド・ポー ボーテ



AMPLITUDE

ロングラスティング
クリームファンデーション

優れたカバー力と研ぎ澄まされた“透き通る感”を見事に融合。濃密なテクスチャーが肌になじみ、びたりと止まって瞬時に美肌。SPF21 PA++ 全9色 32g ¥8,800 / Amplitude



RMK

RMK リキッドファンデーション
フローレスカバレッジ

スキンケア成分配合のみずみずしいテクスチャーながら、気になる部分は緻密にカバー。まるで素肌のようなツヤと自然な立体感を実現。SPF12~20 PA++ 全9色 30mL ¥6,050 / RMK Division



SISLEY

フイト タン ウルトラ エクラ

軽やかにのびて肌に溶け込みながら、びたりと密着。色ムラやくすみを感じさせないブラッシング(ぼかし)効果で、トーンが美しく整った肌を演出する。全11色 30mL ¥10,450 / シスレー



KANEBO

カネボウ ライブリースキン ウェア

肌本来のツヤ、キメ、色を生かしたまま、素肌の質感を再現する新技術を採用。表情が動くたびにツヤが動き、生き生きとした印象に。SPF5~7 PA++~+++ 全8色 30g ¥11,000 / カネボウインターナショナルDiv.



IPSA

イプサ リキッド ファウンデーション

美容液のような極上の心地よさで肌を包み込み、光を拡散させて毛穴や色ムラなどの悩みを確実にカバー。テカリも乾燥も気にならない、隙のない肌が続く。SPF25 PA++ 全6色 25mL ¥4,950 / イプサ

TREND 1

透けるのに、隙のない肌

「緻密なカバー力」「軽やかな使い心地」
「まるで日中スキンケア」のファンデーション

カバー力×軽やかさ×ケア効果。両立が難しいとされるいくつかの「矛盾」をすべてクリアし、隙のない肌を叶えるファンデーションが充実。素肌が透けるような生命感はそのまに、均一感や立体感、**「私の肌？」**と息をのむほど。まずは、深みを感じさせるアイメイク、リップメイクを楽しむために、洗練の肌作りというトレンドから。

POLA

B.A セラムクッション ファンデーション

B.Aスキンケアと共通の美容成分を配合。肌に触れた瞬間、まるで水風船が弾けるようなみずみずしい感触が広がり、均一で滑らかな肌をいつでもどこでも。SPF20 PA++ 全5色 ¥14,850 / ポーラ



LANCÔME

ランコム アブソリュ タン
サプリムエッセンス クリーム

独自の美容成分を50%、さらに24Kゴールドも贅沢に配合。日中のエイジングケアクリームのような効果と心地よさで、潤い、ツヤ、ハリに満ち満ちた美肌を演出。全2色 35mL ¥18,150 / ランコム



GUERLAIN

パリュール ゴールド
スキン フルイド マット

スキンケア成分85%配合に加え、24Kゴールドが溶け込んだ独自処方、輝きと透明感が溢れる肌に。ツヤを抑え込みすぎない絶妙マット。SPF15 PA+++ 全10色 35mL ¥12,540 / グラン

ALBION

アルビオン エクシア アンテリサンス
エマルジョン ファンデーション

美容成分を濃密に含むエマルジョンが肌に均一に広がりながら一体化。光を味方に、厚みや重さ、密閉感なしにシミや色ムラなどの肌悩みをカバー。端正な肌へ。SPF30 PA+++ 全6色 ¥13,200(ケース込価格) / アルビオン





CHRISTIAN LOUBOUTIN
クリスチャン ルブタン リップカラー
レトロベリー 148M

官能的な質感が唇と一体化しながら、濃密に発色。スエードのような仕上がりに。¥13,750 / クリスチャン ルブタン ビューティ



LANCÔME
ラブソリュ ルージュ
インティマット 274

ベルベットライクのしなやかな感触で、ほかしたような抜け感のある仕上がりを叶えるルージュ。高い保湿効果も魅力。¥4,730 / ランコム



YVES SAINT LAURENT
イヴ・サンローラン・ボーテ ルージュ
ビュルクチュール ザ ボールド 11

濃密なのに軽やか、大胆なのに繊細、高発色なのに肌なじみがいい。求められるすべてを叶えた、ドラマティックなリップ。¥5,500 / イヴ・サンローラン・ボーテ



GIVENCHY
ジバンシイ ルージュ・
アンテルディ・シルキー 117

ベルベットライクのしなやかな感触で、ほかしたような抜け感のある仕上がりを叶えるルージュ。高い保湿効果も魅力。¥4,730 / ランコム



GUCCI
グッチ ルージュ ア レーヴル
リキッド マット #505

クリーミーなリキッドがパウダリーに変化し、ソフトマットな仕上がりに。サンセットをイメージさせるブラウンレッド。¥5,060 / グッチ ジャパン



GUCCI
グッチ ルージュ ア レーヴル
リキッド マット #505

クリーミーなリキッドがパウダリーに変化し、ソフトマットな仕上がりに。サンセットをイメージさせるブラウンレッド。¥5,060 / グッチ ジャパン

TREND 3

レッドニュアンス×マットリップ
ひねりの利いた赤ニュアンス、
抜け感のあるマットでモードに

も はやスタンダードになりつつある、メイクアップの赤
みニュアンス。今シーズンのリップカラーはさらにその
バリエーションが無限に広がっていて、中でもマット質感
が新鮮。カシミアのコートにはインテンスな仕上がりを、ロー
ゲージのニットにはシアーな仕上がりを……。これからの着
こなしを格上げするリップメイクを楽しみたい。

VALENTINO
BEAUTY

ロッソ ヴァレンティノ マット 120A
滑らかにのびて、美しい発色が長時間
持続。血色を感じさせる、ほのかな赤み
を含んだブラウンローズヌードカラー。
¥6,600 / ヴァレンティノ ビューティ



SHU UEMURA
ルージュ アンリミテッド
アンブリファイド マット BR792

軽やかなテクスチャーで高いカ
バー力を持つマット。唇に奥行き
を与え、大胆な表情を引き出す
赤みを秘めたブラウン。¥4,070
/ シュウ ウエムラ



NARS
ナース
パワーマット リップスティック 135

滑らかにのび、ふわりと仕上
がるまったく新しい感覚のマット。
エッジでセクシュアルなブリック
レッド。¥4,290 (10/14発売)
/ NARS JAPAN



DECORTÉ
ルージュ デコルテ リキッド 17

高発色ながら二次付着なし。つ
けたてのマットな質感と、加温さ
れているような心地よさが持続
する。リキッドルージュ。¥3,850
/ コスメデコルテ



ADDICTION
アディクション ザ アイシャドウ
パレット 007

アイカラーがまぶたに広がるやいなべ
ルベットのような質感に。カップ・オーレ
ン・ジヤテラコッタがモードな印象を演出。
¥6,820 / アディクション ビューティ



AMPLITUDE
コンスピキュアス アイズ 13

「色×ピンク」と3つの異なる質感」が意
志的な目元を演出し、モダンな印象に。
大人に映える、まったく新しいピンク。
¥7,700 / Amplitude



CELVOKE
ヴァティック アイパレット 03

研ぎ澄まされた「ネオテラコッタ」で、目元
に圧倒的な存在感。単色でヌーディに、
重ねてエッジにと多彩な表情を演出。
¥6,820 / セルヴォーク



GUERLAIN
オンブル ジェ 360

ビュアなネイチャーカラーとシルキーなテ
クスチャーでまぶたを美しく彩る。ブルー
とコッパーのコントラストが印象的。
¥10,340 / ゲラン

TREND 2

ルミナス×スモーキィアイ
洗練された輝きを放つ
カラーバリエで、
まぶたに美しい立体感

ブ ラウトーンのグラデーションもあり、意外性のある
色のコントラストもあり。計算し尽くされたアイカラ
ーパレットで色を重ね合わせて、思わず瞳に視線が集中す
るような深みのある目元を創るのが、今シーズンのひとつの
トレンド。色や質感を絶妙なバランスで重ねて光と影を演出
し、まぶたの立体感が表情を一層美しく。



©CHANEL



SNIDEL
BEAUTY
スナイデル シルキー タッチ
アイズ 05

温もりのあるココアブラウンと、クール
なカーキが、まぶたに自然に溶け込み
ながら、立体感を強調し、洗練の表情を
演出。¥2,970 / スナイデル ビューティ



SUQQU
シグニチャー カラー アイズ 09

ゴールド、レッド、ライラック、カーキ……。
秋の深まりを感じさせる自然の色をモ
チーフに生み出したコクのある色。
¥7,700 / SUQQU



LUNASOL
ルナソル アイカラーレーション 17

天然石のように鮮やかさや輝きを秘めた
色の組み合わせと、絶妙な光と影のコン
トラストがクールでシックな美しさに。
¥6,820 / カネボウ化粧品



CHANEL
レ キャトル オンブル
ツイード 03

ツイードにインスパイアされた4色のハー
モニー。印象的なオレンジでシックかつ
エフォートレスな表情に。¥11,880 (限
定発売) / シャネル

「イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき」

国内最大規模となる「イッタラ」の巡回展 北欧デザインの粋を通して創造の軌跡を辿る

text: Naohiko Takahashi
高橋直彦 マリ・クレール副編集長

「日本初」と聞いて、実は意外に思った。フィンランドを代表するライフスタイルブランドの「イッタラ」をテーマにした大規模な巡回展のこと。1990年代に北欧デザインブームとなつてから、様々な企画展で同ブランドのアーカイブを数多く見てきたからだ。

アルヴァ・アアルト(1898-1976)やカイ・フランク(1911-89)といったフィンランドを代表するデザイナーの業績を紹介する企画展でも、イッタラと協業した作品が展示されていた。「フィンランド」や「北欧」を冠したデザイン展や、さらに範囲を拡げ、グローバルに伸展するモダンデザインの軌

跡を辿る企画展でも、その作品を度々目にしてきた。

実生活でも使いやすい食器を探していた、たまたま購入したのがイッタラのグラスだったということもある。フィンランドの湖や白樺の断面の形状から発想したとされる「アアルト ベース」は緑がかったヴィンテージを20年以上前に探して、今もリビングで花入れとして愛用している。

さて、今展は、イッタラが昨年、創立140周年を迎えたのを記念して、ヘルシンキにあるフィンランド・デザイン・ミュージアムで開かれた企画展を再構成したものだという。20世紀半ばのクラシックなデザインのガラ

スを中心に、陶磁器なども含め450点以上が展示されている。

カルティオ、ウルティマ ツーレ、i-line、そしてバード・パイ・トイッカ……。先に記したものに、こうした代表作はこれまでの企画展で見ているものも多いが、140年のクリエイションの歴史を総覧できる貴重な機会。個人的には、アイノ(1894-1949)とアルヴァ・アアルト夫妻が洗練されたデザインと機能性を兼ね備えたガラス製品を発表して国際的な存在感を示し始める1930年代以前のイッタラ初期作品を見てみたい。

また、日本展で独自に企画されたイッタラと日本とのつながりを紹介する展示も楽しみだ。例えば、カイ・フランクは1950～60年代に度々来日し、デザイン指導を行うとともに日本文化に影響を受けた作品も創作。今世紀に入ると、「イッセイ ミヤケ」や「ミナ

ベルホネン」といった日本のブランドとの協業も行われるようになった。フィンランド、あるいはイッタラと日本の有意義な関わりを、デザインを通して理解できる。

いずれにしても展示作品は、日常生活と密接な関係のあるものばかり。予備知識なしに、それぞれの関心に応じて楽しめる。シンプルで機能的でありながら、自然の有機的な意匠を取り入れたイッタラのデザインを通して、世界を魅了し続ける北欧デザインの創造性の本質に触れることができるだろう。

展覧会情報

「イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき」

会場: Bunkamura ザ・ミュージアム

(渋谷・東急百貨店本店横)

会期: ~ 11月10日(木) *9月27日(火)のみ休館

https://www.bunkamura.co.jp/museum/exhibition/22_iittala/

東京展の後、島根県立石見美術館(2023年4月22日~6月19日)、長崎県美術館(23年7月1日~9月3日)、美術館「えき」KYOTO(24年2月17日~3月31日)へも巡回予定。



〈写真左より〉《カルティオ》カイ・フランク Photo: Anton Sucksdorff、《アアルト ベース》アルヴァ・アアルト、1936年 ©Design Museum Finland, Photo: Johnny Korkman、〈同右〉《バード(シエッポ、スペシャルモデル 2003年、ラウルラスタス)》オィ・バートイッカ、1972年/2003年/1984年 ©Design Museum Finland, Photo: Johnny Korkman、〈同下〉《バーダリンヤ(バーダ湖の水)》タビオ・ヴィルカラ、1960年 ©Design Museum Finland, Photo: Johnny Korkman



次号予告 **marie claire** 10月27日刊行です
27th October, 2022

shop list 掲載商品のお問い合わせ先

ア アクネ ストудиオズ アオヤマ tel: 03-6418-9923
アディクション ビューティ tel: 0120-586-683
RMK Division tel: 0120-988-271
アルビオン tel: 0120-114-225
Amplitude(アンプリチュード) tel: 0120-781-811
イヴ・サンローラン・ボーテ tel: 0120-526-333
イブサお客さま窓口 tel: 0120-523-543
ヴァレンティノ インフォメーションデスク tel: 03-6384-3512
ヴァレンティノ ビューティ tel: 0120-323-220
カネボウインターナショナルDiv. tel: 0120-518-520
カネボウ化粧品 tel: 0120-518-520
グッチ ジャパン クライアントサービス tel: 0120-99-2177
クリスチャン ディオール tel: 0120-02-1947

クリスチャン ルブタン ビューティ tel: 0120-449-360
クレ・ド・ポー ボーテお客さま窓口 tel: 0120-86-1982
クロエ カスタマーリレーションズ tel: 03-4335-1750
ゲランお客さま窓口 tel: 0120-140-677
コスメデコルテ tel: 0120-763-325
コーチ カスタマーサービス・ジャパン tel: 0120-556-936
サカイ tel: 03-6418-5977
サンローラン クライアントサービス tel: 0120-95-2746
シスレージャパン web: www.sisley-paris.com
ジバンシィ ジャパン tel: 0120-218-025
シャネル カスタマーケア tel: 0120-525-519
シュウ ウエムラ tel: 0120-694-666
ジルサンダージャパン tel: 0120-919-256

SUQUU tel: 0120-988-761
スナイデル ビューティ tel: 03-3261-9968
3.1 フィリップ リム ジャパン
mail: customer@31philip.co.jp
セリーヌ ジャパン tel: 03-5414-1401
セルヴォーク tel: 03-3261-2892
ソニア カラスコ web: sonia-carrasco.com
タ トッズ・ジャパン tel: 0120-102-578
ナ NARS JAPAN tel: 0120-356-686
ハ バイバー・ジャパン tel: 0066-33-812819
パルファム ジバンシィ(LVMHフレグランスブランド)
tel: 03-3264-3941
バルファン・クリスチャン・ディオール tel: 03-3239-0618

バレンシアガ クライアントサービス tel: 0120-992-136
フェラガモ・ジャパン tel: 0120-202-170
ベアミネラル tel: 0120-24-2273
ポッテガ・ヴェネタ ジャパン tel: 0120-60-1966
ポーラお客さま相談室 tel: 0120-117111
マックスマール ジャパン tel: 0120-030-535
マルジェラ ジャパン クライアントサービス tel: 0120-934-779
マルベリージャパン tel: 0120-097-428
ミュウミュウ クライアントサービス tel: 0120-45-1993
ランコムお客さま相談室 tel: 03-6911-8151
ルイ・ヴィトン クライアントサービス tel: 0120-00-1854
ロエベ ジャパン クライアントサービス tel: 03-6215-6116
ローラ メルシエ ジャパン tel: 0120-343-432

marieclairejapon.com



Welcome to Our Site!